



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報



意識を喚起し 進んで行動を

2000～2001年度 国際ロータリーのテーマ

新世代活動月間

第660回 平成12年 9月27日(水)

〔本日のプログラム〕

9.18/28 64%

徳丸友寛
白身
Q
変身

たまたま

- | | |
|-------------|---|
| 1. 点 | 鐘 |
| 2. ロータリーソング | |
| 「奉仕の理想」 | |
| 3. 食 | 事 |
| 4. 会長の時 | 間 |
| 5. 幹事報 | 告 |
| 6. 委員会報 | 告 |
| 7. 点 | 鐘 |
| 2190年マセ 敬儀 | |
| 2/18記を迎えて | |

次回予告
★10月4日(水)
職業奉仕プログラム
10月セレモニー

★10月11日(水)
夜間例会
会員卓話
後藤 明夫君
家庭集会

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日(12:30~13:30)	会長	巖田與之助
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	吉田康一郎
事務局	宮崎県佐土原町大字下郷3887-17	幹事	宮原 建樹
	☎880-0212	会計	後藤 明夫
	TEL FAX 0985-73-7170	会報係	池田 仁志

第659回例会記録 (2000. 9. 20)

☆会長の時間

会長 梶田 與之助 君

皆様 今日は。
本日は第659回の例会です。
始めにご紹介します。当クラブより、奨学生として推薦を希望しておられる、中国河南省出身の、現在宮崎大学、大学院生の、李 東君です。後程、副会長の吉田会員より紹介して頂きます。

先週の「観月会」には多数の出席を頂き有り難う御座いました。

会長の時間で「あいにくの雨の中の観月会」と申し上げましたが、雲の切れ間から「満月」を見ることが出来まして、大変感激致しました。また、お互い親睦を深め、好意と友情を深めて頂いた一夜だったと思います。

9月に入って台風の影響で10日間も長雨が続きましたが、ここ4日間は晴天に恵まれ、朝晩も涼しくなり、秋らしい天候になりました。今日から彼岸の入りになります。

宮崎日々新聞の「ニュースの言葉」で天気の新解説用語が掲載されておりましたので、紹介致します。以下抜粋。

「大雨や強風による被害軽減のため気象庁は『傘をさしても濡れる』『風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る』など雨や風の強さを具体的に実感できる新解説用語を導入した。時間雨量の強さとぬれかたについて、10~20ミリを『地面からの跳ね返りで足下がぬれる』、20~

50ミリは『傘をさしても濡れる』、50ミリ以上は『傘はまったく役に立たない』と表現。『ブロック塀が壊れ、取り付けの不完全な屋外外装品がはがれ、飛び始める(風速25~30メートル)』などの予想被害や『ワイパーを速くしても前が見えづらい(雨速20~30ミリ)』など運転時の注意点といった基準も。風速の目安は30メートル以上を『特急列車』などと表現している」

本日はライラ準備委員会になっております。この件に関しては、後で、新世代委員長の恒吉君より、説明をお願いしたいと思います。

☆幹事報告

幹事 宮原 建樹 君

1. 例会変更通知

10月2日(月)は「職場訪問」の為、
時間 12:00~
場所 宮崎県宮野球場 に変更
宮崎南RC

2. 地区大会登録締切りについて

9月30日が登録締切りになっております。2~3名の方が未だはっきりしておりませんので、本日の夕方までに返事を頂きたいと思います。

11月25日(土)午前9:00出発、1泊し翌26日(日)朝帰る予定です。マイクロバス1台をレンタルしております。

3. 江崎会員増強委員長より【入会案内】を作成して頂きました。

会員増強に役立てていただきたいと思っております。

☆出席報告

委員長代理 田村勝二君

会 員 数	28名
例会出席者	23名
出席率	82%
マークアップ者数	2名
修正出席率	89%
欠 席 者 名	嗣(南)館時

☆米山奨学生

推薦のお願い

副会長 吉田康一郎君

皆様 今日は。
久しぶりに前に立ち、お話を致します。

会長より紹介して頂きましたが、本日は中国出身、宮崎大学、大学院修士課程1年生に在学中の、李東君を例会にお迎え致しました。

彼はロータリーの米山奨学制度の推薦を受けたくて、それなら是非例会に出席して頂き、ロータリアンとの触れ合いを持ったらいいいんじゃないか、との助言を米山奨学会、委員長の岩切君にいただきまして、本日この例会に出席して貰いました。

本来、米山奨学金を受けるためには、大学に申し込み、大学からOKの返事が出てから始めてロータリークラブが推薦の手続きを取る、というようになっているのですが、今回は取り合えず、顔見せとすることで来て頂きました。

彼の父上が1年前に亡くなり、学費も滞って、現在新聞配達をしながら、日々

の生計を立てて居るようです。

当クラブの皆様のご推薦の頂き、何とか米山奨学生になれる様、お力添えをよろしく、お願い致します。

☆ご挨拶

李東君

私は、李東と申します。

吉田社長の紹介で、皆様の推薦を受けることは、大変うれいです。一生、皆様に感謝の気持ちを持っています。

簡単に自己紹介をさせていただきます。私は、中国河南省の出身で、高校を卒業して河南財経学院に財経管理専門で勉強しました。

私の故郷河南省は、中国歴史の発源地中国の中心部、面積の大部分は黄河の南で、河南と呼ばれます。古くから中国の重要な文化、経済、交通、政治の中心としてよく知られています。

中国改革開放政策になり、私はもっと勉強しなくてはいけないと感じました。私にとっては、知識の不足を感じ、学識を増やすため、また、時代の流れにつれ、国際交流、日中友好が重要だと思っています。そして、私は、農業経済情報を重視している日本で勉強したいという夢を実現しました。

今、宮崎大学大学院農業研究科農林生産学修士課程1年に在学しています。しかし、これからの最短1年半かかる大学院生活は、私にとって大変な辛苦の道であります。中国に比べると、異常に高つく日本の生活費は非常に負担のある勉学生生活を余儀なくされます。家計的にも昨年、父が亡くなりまして、母国からの

仕送りが途絶えていることで、経済的にも困窮しています。

したがって、私の経済的に厳しい現在の留学生生活を改善し、安定したものにすするため、勉強に一層専念出来る、学業が続けられるために、「ロータリー米山記念奨学金」の恩典に浴することを希望する次第です。

これからも、国際文化交流ボランティア活動に自分の力を注ぎたいと思っています。

☆クラブ奉仕委員会

委員長 柳田光寛君

9月9日(土)クラブ奉仕委員会が宮崎市のAZMホールで開催され、委員長の私が出席致しました。

概要の報告を致します。

1. クラブ例会の出席率が低い。70%台というクラブ等があり、これを改善するために取られる方策の意見がありました。新入会員に対しては、推薦した先輩会員がある一定期間、隣席に坐る、というのはよくありますが、ただ坐るだけではなく、カウンセラーとして、聞き慣れない用語等の説明をしてあげる…(実は私も今でも分からない用語があります)と言う意見が多く出されました。

2. 例会を魅力あるものに。

これはどのクラブも試行錯誤しているようで、結局結論は出ないままに終わりました。

多分これは我々ロータリアンにとって永遠のテーマの一つなのではないでしょうか。

☆親睦委員会

委員長 徳丸彰一君

先週の親月会、天気があまり良くなくて期待して居りませんでした。雲の間から、奇麗な満月を観ることが出来ました。

皆さんと一緒に感激した次第でした。

沢山のご参加、有り難う御座いました。会費が分かりましたら、ご請求申し上げます。

それから、会計の後藤君に聞きましたが、当クラブの財政が相変わらず困窮しているとのこと。もうひとふんばりハッピーに頑張って下さい…とのアピールを頼まれました。

☆新世代委員会

委員長 恒吉正志君

来年5月、ライラ実施に向けて高鍋・西都両クラブの資料をお手元に配布致しましたが、これを参考にしながら、当クラブ独自のプランもまだ時間も有りますので、これからじっくり計画を練って行きたいと思います。

この資料の最後に粗案として、昨日、会長・幹事と相談し、組織図を作成しました。あくまで【案】です。皆さんのご意見も取り入れて、実施に向けて頑張って行きたいと思います。

資金等、色々あります。

よろしくご協力の程、お願い致します。